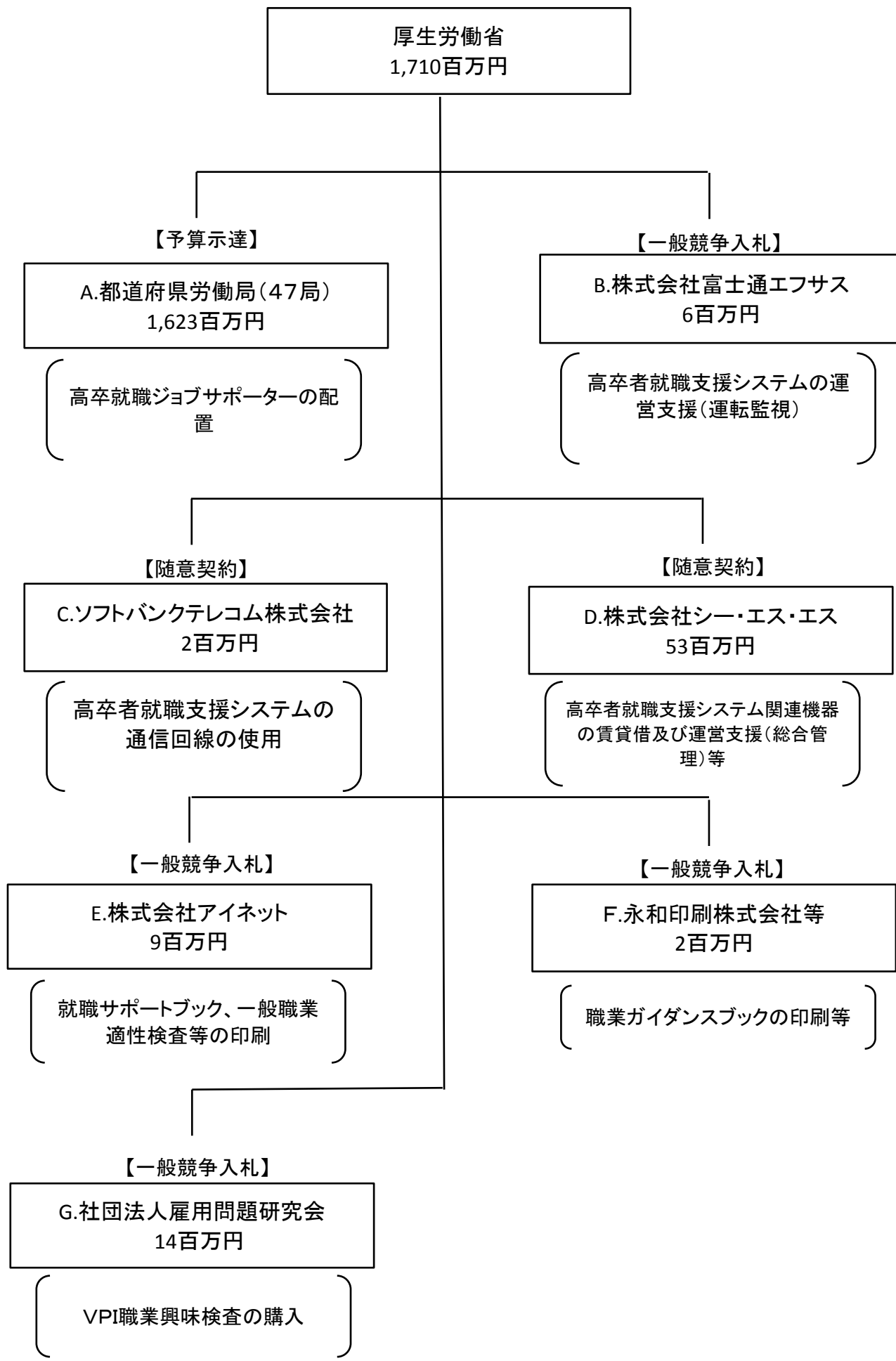


行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	高校新卒者等に対する就職支援	事業開始年度	平成13年度	作成責任者		
担当部局庁	職業安定局	担当課室	若年者雇用対策室	若年者雇用対策室長		
会計区分	一般会計・労働保険特別会計雇用勘定	上位政策	高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号	関係する計画、通知等	新成長戦略、緊急経済対策、緊急雇用対策			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	学校と連携を図りつつ高校新卒者等に対する就職支援を実施し、高校新卒者等の適切な職業選択及び早期就職の実現を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ハローワークに高卒就職ジョブサポーターを配置し、学校訪問等により高校新卒者等に対する求人情報の提供、個別相談等きめ細かな就職支援を実施する。高卒者就職支援システムを運用し、インターネットを活用した求人情報等の提供を行う。また、企業と新卒者等とのマッチングの機会等を設けるため就職面接会等を開催する。					
実施状況	高卒就職ジョブサポーターの相談件数 454, 651件【平成20年度】					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	2,073	1,824	1,873	2,681	4,039
	執行額	2,064	1,748	1,710		
	執行率	99.6%	95.8%	91.3%		
	総事業費(執行ベース)	2,064	1,748	1,710		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	労働局からの定期的な報告等により実績の把握を行っており、実績に基づく適切な運用を行っている。				
	見直しの余地	平成23年度からは、「高校新卒者等に対する就職支援」と「高校生等の職業意識形成支援」を整理・統合し、総合的に実施していくこととして見直しを行い、要求することとしている。				
予算監視の・効率化	一部改善(事業の優先度を勘案し縮減) * 補記参照 事業内容を精査し、より効率的・効果的な事業となるようにすべき					
補記	学卒者の就職環境が非常に厳しいため、昨年度の緊急経済対策等を踏まえて、対策を強化する必要があったこと、「高校生等の職業意識形成支援」(No.928)を整理・統合したことから増額となっているところ。					

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)



A.都道府県労働局			E.株式会社アイネット		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
相談員経費	高卒就職ジョブサポーターに対する謝金等	1,492	事業費	就職サポートブック等の印刷製本費	9
事業費	就職面接会等の開催等	130			
計		1,622	計		9
B.株式会社富士通エフサス			F.永和印刷株式会社等		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	高卒者就職支援システムの運営支援(運転監視)	6	事業費	職業ガイダンスブックの印刷製本費等	2
計		6	計		2
C.ソフトバンクテレコム株式会社			G.社団法人雇用問題研究会		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	高卒者就職支援システムの通信回線料	2	事業費	VPI職業興味検査の購入経費	14
計		2	計		14
D.株式会社シー・エス・エス			H		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	高卒者就職支援システム関連機器の賃貸借料等	53			
計		53	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)